

宮崎県感染症週報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

宮崎県第36週の発生動向

□ 全数報告の感染症 (36週までに新たに届出のあったもの)

- 1 類感染症：報告なし。
- 2 類感染症：結核 2 例。
- 3 類感染症：腸管出血性大腸菌感染症 2 例。
- 4 類感染症：報告なし。
- 5 類感染症：百日咳 4 例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	70 歳代	男	肺結核	咳、痰、発熱、呼吸困難
		日南	80 歳代	男	結核性胸膜炎	発熱、呼吸困難
3類	腸管出血性大腸菌感染症	都城	0~4歳	男	—	腹痛、水様性下痢、血便、O26(VT型不明)
		日向	90 歳代	女	—	水様性下痢、血便、O血清型不明(VT1, 2産生)
5類	百日咳	宮崎市	0~4歳	男	—	持続する咳、夜間の咳き込み、呼吸苦
			5~9歳	男	—	持続する咳
		日南	10 歳代	男	—	持続する咳、夜間の咳き込み
			10 歳代	女	—	持続する咳

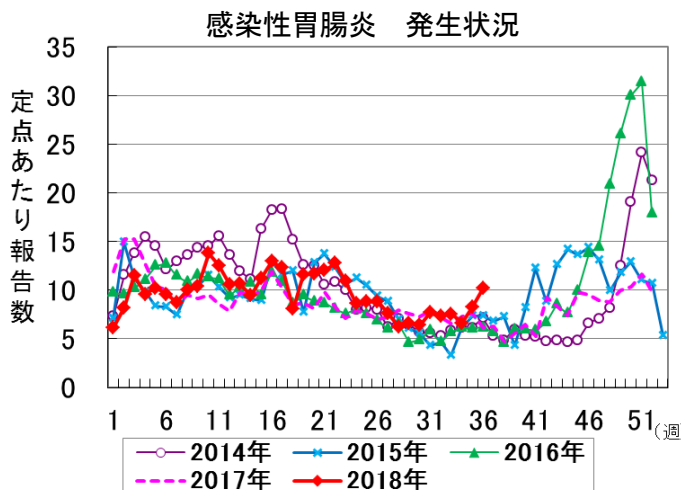
□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

・定点医療機関からの報告総数は 829 人(定点当たり 26.7)で、前週比 102%とほぼ横ばいであった。なお、前週に比べ増加した主な疾患は感染性胃腸炎とA群溶血性レンサ球菌咽頭炎で、減少した主な疾患はヘルパンギーナである。

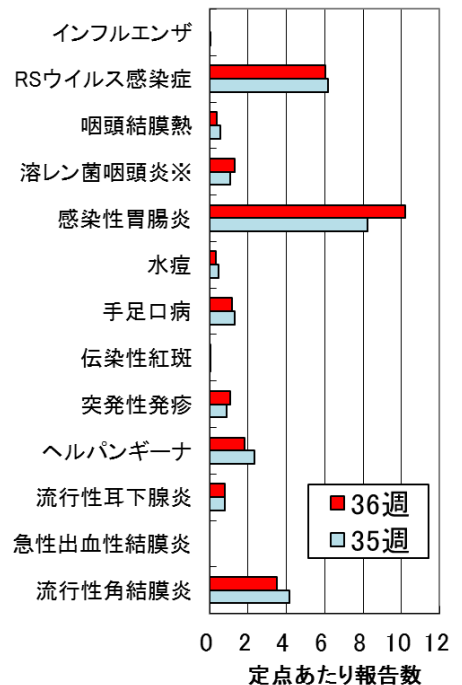
★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

【感染性胃腸炎】

報告数は 357 人(10.2)で、前週比 124%と増加し、例年同時期の定点あたり平均値*(6.3)の約 1.6 倍である。日南(35.3)と中央(13.0)、日向(12.8)、小林(12.7)保健所からの報告が多く、年齢群別では 1~4 歳が全体の約 5 割を占めている。



《前週との比較》

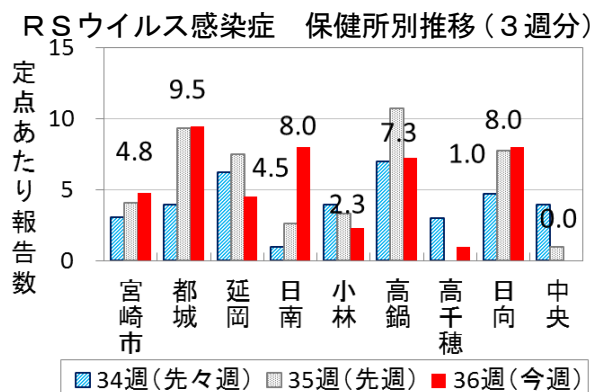
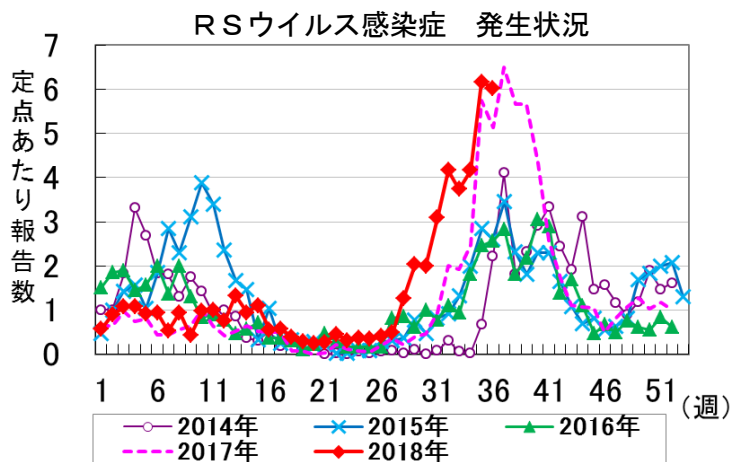


※ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

【RSウイルス感染症】

報告数は211人(6.0)で、前週比98%と横ばいであった。例年同時期の定点あたり平均値*(3.5)の約1.7倍である。都城(9.5)、日南・日向(各8.0)保健所からの報告が多く、年齢群別では2歳以下が全体の9割以上を占めている。

* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均



★基幹定点からの報告★

○感染性胃腸炎(ロタウイルス)：宮崎市保健所から1例報告があった。0～4歳であった。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値超過疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値超過疾患
宮崎市	なし
都城	なし
延岡	ヘルパンギーナ(7.8)
日南	感染性胃腸炎(35.3)、流行性耳下腺炎(6.0)
小林	なし
高鍋	なし
高千穂	なし
日向	なし
中央	なし

流行警報レベル開始基準値

- ・感染性胃腸炎(20.0)
- ・ヘルパンギーナ(6.0)
- ・流行性耳下腺炎(6.0)

□病原体検出情報(衛生環境研究所微生物部 平成30年9月10日までに検出)

★細菌

同定細菌名	年齢(歳)	性別	採取年月日	臨床症状等	検出材料	分離・検出日
EAaggEC(O111:H21)	0～4歳	男	2018.08.17	無症状	便	2018.08.23
<i>Bordetella pertussis</i> (百日咳菌)	20歳代	男	不明	百日咳疑い、気管支炎	咽頭ぬぐい液	2018.08.28
<i>Bordetella pertussis</i> (百日咳菌)	20歳代	女	不明	百日咳疑い	咽頭ぬぐい液	2018.08.28
<i>Bordetella pertussis</i> (百日咳菌)	50歳代	女	不明	百日咳疑い、発熱(37.0℃)、気管支炎	咽頭ぬぐい液	2018.08.28
O157LPS抗体(+)	5～9歳	男	不明	溶血性尿毒症症候群(発熱、腎機能障害)、胃腸炎	血清	2018.08.24
EHEC(O26:H11 VT1)	30歳代	男	2018.08.23	無症状	便	2018.08.24
EHEC(O26:H11 VT1)	20歳代	女	2018.08.23	無症状	便	2018.08.24
<i>Salmonella</i> <i>Corvallis</i> (O8:z4,z23:-)	0～4歳	男	2018.08.25		便	2018.08.31
EHEC(O157:H7 VT1,2)	40歳代	女	2018.08.23		便	2018.08.30
<i>Neisseria meningitidis</i> (血清群不明)	40歳代	女	2018.08.23	外陰部の腫れ	膿	2018.09.07
<i>Salmonella</i> <i>Typhimurium</i> (O4:i:1,2)	30歳代	男	2018.08.31		便	2018.09.05

溶血性尿毒症症候群（HUS）の患者から、O157LPS 抗体が検出された。感染症法において 3 類感染症である腸管出血性大腸菌感染症は届出基準として便からの分離・同定による病原体の検出に加えて、分離菌における毒素産生の確認または PCR 法等による毒素遺伝子の検出となっている。また、HUS 発症例に限り、便からペロ毒素が検出されるか、血清から O 抗原凝集抗体または、抗ペロ毒素抗体が検出されることが届出基準になっている。なお、HUS を起こす腸管出血性大腸菌の血清型は O157 以外にも認められることから、O157LPS 抗体陰性の場合には他の血清型も考慮する必要がある。

★ウイルス

同定ウイルス名	年齢	性別	採取年月日	臨床症状等	検出材料	分離・検出日
ヒトライノウイルス	0～4歳	男	2018.08.01	百日咳の疑い、下気道炎(気管支炎)	咽頭ぬぐい液	2018.09.10
RSウイルス	0～4歳	男	2018.08.06	RSV細気管支炎、hMPV混合感染、38℃、下気道炎(気管支炎)	咽頭ぬぐい液	2018.09.10
RSウイルス	0～4歳	女	2018.09.10	気管支肺炎、40.0℃、下気道炎(肺炎、気管支炎)、上気道炎(咽頭炎)、胃腸炎(下痢、吐気、嘔吐)	咽頭ぬぐい液	2018.09.10
エコーウイルス11型	0～4歳	女	2018.08.01	ウイルス性髄膜炎、39.0℃、髄膜炎	便 髄液	2018.09.06
エコーウイルス18型	0～4歳	男	2018.07.12	ウイルス性発疹、上気道炎、発疹、結膜炎	咽頭ぬぐい液	2018.09.06
コクサッキーウイルスB3型	0～4歳	女	2018.07.18	手足口病、37.6℃、水疱	咽頭ぬぐい液	2018.09.06
ヒトヘルペスウイルス6	0～4歳	男	2018.07.01 2018.07.04 2018.07.04	急性壊死性脳症、40.0℃、脳炎(脳症)	髄液 便	2018.09.06
ヒトヘルペスウイルス7	5～9歳	男	2018.06.07	無菌性髄膜炎、40℃、頭痛、髄膜炎、脳炎(MERS)、SIADH	咽頭ぬぐい液	2018.09.06

○乳幼児 2 名から RS ウイルス (RSV) が検出された。RSV は一般的に秋期から冬期にかけて流行し、翌年の 3 月頃に終息するが、近年、夏期にも RSV の流行がみられるようになり、本県でも同様に夏期に RSV が検出されている。今年も全国的に RSV の流行がみられている。有効なワクチンはないため、感染拡大防止のためには手洗いうがいの徹底が重要である。

🇯🇵 全国 2018 年第 35 週の発生動向

□ 全数報告の感染症（全国第 35 週）

1類感染症	報告なし				
2類感染症	結核	307 例			
3類感染症	細菌性赤痢	4 例	腸管出血性大腸菌感染症	259 例	パラチフス 1 例
4類感染症	E型肝炎	6 例	A型肝炎	12 例	重症熱性血小板減少症候群 1 例
	チクングニア熱	2 例	デング熱	8 例	日本紅斑熱 8 例
	マラリア	2 例	レジオネラ症	30 例	
5類感染症	アメーバ赤痢	15 例	ウイルス性肝炎	2 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症 40 例
	急性弛緩性麻痺	3 例	急性脳炎	7 例	クロイツフェルト・ヤコブ病 1 例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	7 例	後天性免疫不全症候群	13 例	ジアルジア症 2 例
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	5 例	侵襲性肺炎球菌感染症	26 例	水痘（入院例） 2 例
	梅毒	83 例	播種性クリプトコックス症	1 例	破傷風 2 例
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1 例	百日咳	243 例	風しん 75 例
	麻しん	2 例	薬剤耐性アシネトバクター感染症	1 例	

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 113%と増加した。なお、前週と比較して増加した主な疾患はRSウイルス感染症と感染性胃腸炎で、減少した主な疾患は水痘である。

RSウイルス感染症の報告数は 6,609 人(2.1)で前週比 157%と増加し、例年同時期の定点当たり平均値*(1.1)の約 2 倍である。宮崎県(6.2)、愛媛県(5.2)、佐賀県(5.1)からの報告が多く、年齢群別では 2 歳以下が全体の約 9 割を占めている。

ヘルパンギーナの報告数は 5,343 人(1.7)で前週比 108%と増加し、例年同時期の定点当たり平均値*(1.6)の約 1.1 倍である。山形県(6.0)、宮城県(4.5)、長野県(4.3)からの報告が多く、年齢群別では 1～3 歳が全体の約 7 割を占めている。

* 過去 5 年間の当該週、前週、後週（計 15 週）の平均

月報告対象疾患の発生動向 <2018年8月>

□性感染症

【宮崎県】 定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は31人(2.4)で、前月比111%と増加した。また、昨年8月(1.9)の124%である。

《疾患別》

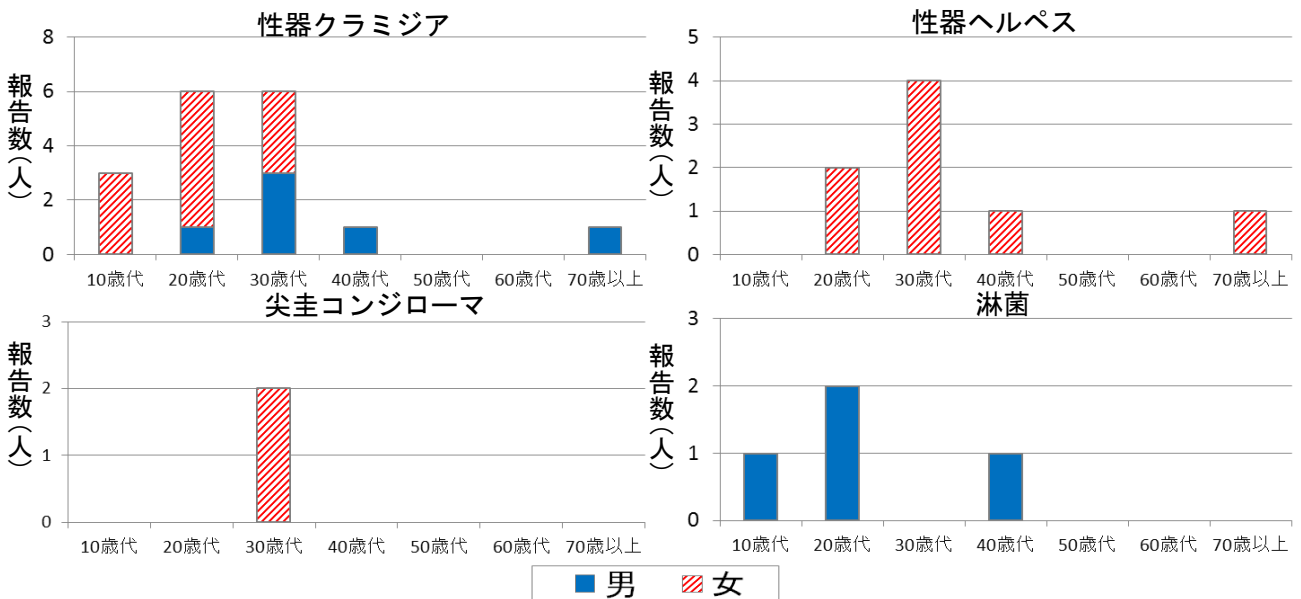
○性器クラミジア感染症：報告数17人(1.3)で、前月の約0.7倍、昨年8月の約0.9倍である。

20～30歳代が全体の7割を占めている。(男性6人・女性11人)

○性器ヘルペスウイルス感染症：報告数8人(0.62)で、前月の4倍である。(女性8人)(前年報告なし)

○尖圭コンジローマ：報告数2人(0.15)で、昨年8月と同率である。(女性2人)(前月報告なし)

○淋菌感染症：報告数4人(0.31)で、前月の4倍、昨年8月の約1.3倍である。(男性4人)



【全国】 定点医療機関総数：977

定点医療機関からの報告総数は4,337人(4.4)で、前月比104%とほぼ横ばいであった。疾患別報告数は、性器クラミジア感染症2,252人(2.3)で前月比105%、性器ヘルペスウイルス感染症796人(0.81)で前月比96%、尖圭コンジローマ486人(0.5)で前月比98%、淋菌感染症803人(0.82)で前月比116%である。

□薬剤耐性菌

【宮崎県】 定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は19人(2.7)で、前月比112%と増加した。また、昨年8月(3.0)の91%である。

《疾患別》

○メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数18人(2.6)で、前月の約1.1倍、昨年8月の0.9倍である。70歳以上が全体の約6割を占めている。

○ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告数1人(0.14)で、前月と同率である。年齢は40歳代である。(前年報告なし。)

○薬剤耐性緑膿菌感染症：報告なし。

【全国】 定点医療機関総数：478

定点医療機関からの報告総数は1,555人(3.3)で、前月比108%と増加した。疾患別報告数は、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症1,404人(2.9)で前月比109%、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症142人(0.3)で前月比94%、薬剤耐性緑膿菌感染症9人(0.02)で前月と同率である。

宮崎県 感染症情報

(71 定点医療機関)

2018年 第36週(09月03日～09月09日)

疾病名		第35週	第36週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	3										
	定点あたり	0.05	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
RSウイルス 感染症	報告数	216	211	43	57	18	24	7	29	1	32	
	定点あたり	6.17	6.03	4.78	9.50	4.50	8.00	2.33	7.25	1.00	8.00	0.00
咽頭結膜熱	報告数	20	13	1	4	4	2		2			
	定点あたり	0.57	0.37	0.11	0.67	1.00	0.67	0.00	0.50	0.00	0.00	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	38	45	9	4	14	5		5		2	6
	定点あたり	1.09	1.29	1.00	0.67	3.50	1.67	0.00	1.25	0.00	0.50	6.00
感染性胃腸炎	報告数	288	357	58	43	11	106	38	30	7	51	13
	定点あたり	8.23	10.20	6.44	7.17	2.75	35.33	12.67	7.50	7.00	12.75	13.00
水痘	報告数	16	11	6	1		1	1			2	
	定点あたり	0.46	0.31	0.67	0.17	0.00	0.33	0.33	0.00	0.00	0.50	0.00
手足口病	報告数	46	41	17	2	4	9	3			6	
	定点あたり	1.31	1.17	1.89	0.33	1.00	3.00	1.00	0.00	0.00	1.50	0.00
伝染性紅斑	報告数	2	1		1							
	定点あたり	0.06	0.03	0.00	0.17	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	30	37	10	5	4	5	4	4		4	1
	定点あたり	0.86	1.06	1.11	0.83	1.00	1.67	1.33	1.00	0.00	1.00	1.00
ヘルパンギーナ	報告数	82	64	11	4	31	2	1		5	10	
	定点あたり	2.34	1.83	1.22	0.67	7.75	0.67	0.33	0.00	5.00	2.50	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	27	27	1	4		18				2	2
	定点あたり	0.77	0.77	0.11	0.67	0.00	6.00	0.00	0.00	0.00	0.50	2.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	25	21	14	6	1						
	定点あたり	4.17	3.50	4.67	3.00	1.00						
細菌性髄膜炎	報告数	1										
	定点あたり	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ 肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数		1	1								
	定点あたり	0.00	0.14	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:58、小児科定点:35(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数
下段:定点あたり報告数

全数把握対象疾患累積報告数(2018年第1週～36週)

2類感染症	結核	120例(2)				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	33例(2)				
4類感染症	E型肝炎	3例	A型肝炎	22例	重症熱性血小板減少症候群	10例
	つつが虫病	1例	デング熱	1例	日本紅斑熱	14例
	レジオネラ症	5例				
5類感染症	アメーバ赤痢	1例	ウイルス性肝炎	4例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	8例
	急性脳炎	6例	クロイツフェルト・ヤコブ病	2例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1例
	後天性免疫不全症候群	4例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	3例	侵襲性肺炎球菌感染症	20例
	水痘(入院例)	1例	梅毒	2例	播種性クリプトコックス症	4例
	破傷風	4例	百日咳	234例(4)	風しん	2例

()内は今週届出分、再掲